

# 環境衛生課からの お知らせ

吉備庁舎 環境衛生課  
清水行政局 建設環境室  
☎52・2111  
ごみ分別すれば資源



## 「不正大麻・けし撲滅運動」

大麻や一部のケシは、法律で栽培・所持・使用などが禁止されているものがあります。しかし、大麻・ケシにかかわる事犯は発生しており、特にケシに関しては「植えても良いケシ・植えてはいけないケシ」の判別知識の不足から、観賞用として植えてはいけないケシを栽培する事例や、不正自生ケシを放置する事例が依然として後を絶ちません。さらに、大麻事犯については、近年青少年層を中心として増加し、野生大麻による事犯も頻発しています。



大麻

和歌山県では、不正栽培および自生する大麻・ケシを撲滅するため、4月から6月にかけて「不正大麻・けし撲滅運動」を実施し、これらの大麻・ケシ発見に努めています。耕作地や空き地に自生することがありますので十分お気を付けください。もしそれが大麻や違法なケシだと知らなくても、栽培している事実があれば罪に問われることがあります。

① 大麻は、成長が早く、大きいものは草丈が3mにもなりますが、種子を付けた後は枯れてしまいます。  
② 良く成長した茎は、太く真っすぐに立ち、浅い縦すじが通っています。  
③ 葉は、細長い柄の先に、3〜9枚（奇数枚数）の小葉が集まって手のひらのような形になっています。葉全体の大きさは10〜20cmくらいです。

● 開花期の草丈は100〜160cm程度です。  
● 葉は互い違いに茎へ付き、その基部は茎を抱き込むような形をしています。  
● アツミゲシ（セティゲルム種）の特徴  
● 花びらは4枚で、色は薄紫や赤があり、ソムニフェルム種よりも小型です。

● 開花期の草丈は50〜100cm程度です。  
● 葉・茎・つぼみなどの外観は緑色でよく枝分かれます。  
● 果実は、ソムニフェルム種よりも小型です。

● ハカマオニゲシ（ブラクテアツム種）の特徴  
● 初夏に、直径10cmくらいの鮮やかな深紅の大きな花を咲かせます。  
● 花びらのすぐ真下に4〜6枚の苞葉（ほうよう）があります。  
● 草丈は60〜100cmで、葉や茎全体が白く硬い毛で覆われています。

● 栽培しても良いケシには次のものがあります。  
● オニゲシ  
● アイスランドポピー  
● ヒナゲシ など

見つけた場合は、湯浅保健所衛生環境課（☎64・1293）にご連絡ください。

ケシの仲間（ケシ属植物）は、春から夏にかけて色鮮やかで美しい大きな花を咲かせるものが多く、ガーデンングや切り花用の植物として人気があります。  
しかし、ケシの仲間には、「あへん法」という法律で栽培が禁止されているものがあります。

④ 雄花と雌花が別々の株につき、花は夏に咲きます。雌株は、葉のつけ根に穂状の雌花を多数付けます。雌花を摘むと、樹液でねばねばします。



アツミゲシ（セティゲルム種）